

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	観光情報発信事業							予算事業名	観光情報発信事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			07	01	05	1105	経常経費					
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう							事業の区分	主要事業			
	地域資源を活用したにぎわいと交流の促進								担当課係等	商工観光課		
	地域資源を活用した観光の振興									観光係		
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】	本市独自の観光資源の発掘、磨き上げを行い、情報発信することやイベントを実施することにより観光客の誘客を図る。実施についてや、デジタル化、DX化を意識しインバウンド需要にも対応する。							【事業開始のきっかけや他市の状況など】	商業観光振興計画に基づき、様々な観光情報の発信、コンテンツの実施を行う。事業開始の根拠は、インバウンドや旅行需要の高まりによる。他市の状況はあまり参考とならない。			
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】	観光資源発信業務や誘客イベントの充実化を行う。年次計画により複数年かけて、ボトムアップを達成する。寺社、御朱印、御城印、御手杵などの独自で固有の資源と、ゲーム、アニメ、声優などといった流行のトレンドを掛け合わせ、誘客を目指す。ARやQRコードを使用したDX化の推進を合わせて行う。							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】	本市を訪れる観光客、市内観光スポット			
								【事業をとりまく環境の変化】	観光客の誘客合戦の激化により、魅力ある観光地の確立、おもてなし感を充実させることは観光行政にとって急務となっている。選ばれる観光地、満足度が高い観光地となるために、求められるハードルは年々高くなってきている。			
	【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
	・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語)			・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語)				・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語)				
	・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)			・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)				・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)				

■ 事業費											
			R06年度	R07年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0				
	県		支	出	金	0	0				
	地	方			債	0	0				
	そ	の			他	0	0				
	一	般			財	源	5,998	3,000			
歳入計 (千円)			5,998	3,000							
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)						
	12 委託料		5,998		3,000						
歳出計 (千円) (A)			5,998	3,000							
伸び率 (%)				-49.98							
備考	総合計画 9 2 ページ 予算書 1 4 3 ページ										

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	歴史的資源を活用したイベントの実施	実施	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	当該事業費にかかるイベントの実施数	事業	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数	人	目標	550,000.00	600,000.00	650,000.00
	観光入込客数		実績	445,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	独自の資源を活用した観光誘客を行うことで、自治体間の競争を勝ち抜き、地元経済の活性化を図る必要性は高い。また、独自のイベントを実施することで、自治体の知名度を向上させ、好感度の上昇やふるさと納税の額の増加にも寄与する。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	自治体を持つ資料もあることや、規模の大きなイベントは自治体や、観光協会に委託することでの実施は妥当と考える。
	手段の妥当性	A 妥当である	様々なコンテンツを実施するにあたり、一定のノウハウを持つ事業者へ委託することは妥当と考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	実施する事業により、どれだけの誘客がなされるかは未知数のため、どちらともいえない部分がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	観光客の増加が経済波及につながり、最終的には税収の伸びとして市民全体に還元されることから受益者の偏りはないと考える。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年引き続き実施することにより、本市独自の資源を活用した取り組みが認知、評価され成果が向上していくものと考えられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	結城家物語、御手札を活用したイベントともに一定の成果が出ているものとする。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
本市独自のコンテンツの提供を行うことは、観光誘客を行う上で大きな強みとなることから、継続すべき事業と考えられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
流行、トレンドの把握、誘客層の絞り込みを行い効果的なコンテンツの実施を行う。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 本市には歴史的な観光資源が多く存在しており、これまでの事業を継続しつつ、新たな観光資源の発掘をする必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。</p>
管理課連絡欄